

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム関野記念鶴生園新築工事	階数	地上7F
建設地	藤沢市鶴沼石上2丁目3-3,3-5	構造	RC造
用途地域	商業地域、第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年8月1日
敷地面積	962㎡	作成者	株式会社建築一家
建築面積	610㎡	確認日	2015年8月1日
延床面積	3,456㎡	確認者	株式会社建築一家



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 2
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・市街地の中心部に、特別養護老人ホームを整備し、高齢化を特別視せず、共に生きるをテーマとし、地域との双方の交流を目指す。入居者に対しては、機能性・安全性・経済性などにも十分配慮した特別養護老人ホームとする。		建設工事における廃棄物削減・リサイクルを積極的に行うとともに、街なみ景観に配慮している。
Q1 室内環境 ・個室間の間仕切り壁には、グラスウールを充填した壁を採用し、音環境へ配慮している。 各室に空調調和設備と換気設備を設け、快適な居住空間への配慮をしている。	Q2 サービス性能 ・木、白を基調とした内装とし、落ち着いた空間としている。 ・外壁の仕上げ材は長寿命の耐候性塗料を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地面積の10%を緑化し、緑豊かな環境としている。
LR1 エネルギー ・主な屋根を外断熱工法とする事で、建物躯体への熱負荷、空調負荷を低減し電気使用量の削減へ配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・内装材については全てF☆☆☆☆とし、シックハウス対策に配慮している。 ・その他仕様材料においては環境負荷の少ない材料を積極的に採用している。	LR3 敷地外環境 ・配置計画において、周辺住民に対しての日影の影響や屋上に設けた空調室外機の騒音に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される